

報道資料

令和7年9月26日

報道機関各位

担当課	観光商工部 観光物産課
担当者	主事 黒田 大志
電話	0957-47-7834
FAX	0957-38-3205

「令和6年（2024年）雲仙市観光統計」について

【総括】

令和6年（1月～12月）に雲仙市を訪れた観光客延べ数は、224万103人（7万5,045人減）で前年比3.2%減となりました。観光客延べ数は減となりましたが2年連続で220万人を上回りました。コロナ禍前の令和元年と比較すると、81.4%まで回復しました。

また一方で、観光消費額につきましては観光客延べ数が減少となったものの、258億1,352万円（25億352万円増）で前年比10.7%増となりました。コロナ禍前の令和元年と比較すると、24.5%増となりました。

内訳は以下の通りです。

観光客延べ数

日帰り客数 148万1,738人（5万9,518人減）前年比 3.9%減
宿泊客延べ滞在数 75万8,365人（1万5,527人減）前年比 2.0%減

観光消費額

日帰り客 約123億2,362万円（21億8215万円増）前年比21.5%増
宿泊客 約134億8,991万円（3億2137万円増）前年比 2.4%増

【各種分析】

○日帰り客数 148万1,738人（5万9,518人減）

日帰り客数は、148万1,738人（5万9,518人減）で前年比3.9%減となりました。

主要観光スポットである「仁田峠」を訪れた人は前年より約9千人増加しましたが、「百花台公園」が約2万人、「ほっとふっと105」が約6千人減少となりました。また、集客力のあるイベント「雲仙灯りの花ぼうろ」が5千人減少に加え、地域イベントの規模縮小等により、減少となりました。

○宿泊客延べ滞在数 75万8,365人(1万5,527人減)

宿泊客延べ滞在数は、75万8,365人(1万5,527人減)で前年比2.0%減となりました。要因としましては、複数の宿泊施設の改修に伴う休業や廃業等、また前年実施された全国旅行支援の反動等により、宿泊客延べ滞在数の減少となりました。

○観光消費額 258億1,352万円(25億352万円増)

観光客が消費した観光消費額は、258億1,352万円(25億352万円増)で前年比10.7%増となりました。観光客延べ数と宿泊客延べ滞在数が減少する中、観光消費額の増加の要因としましては、宿泊施設の高付加価値化等による宿泊費の上昇や観光コンテンツ充実による娯楽費の上昇、また物価高騰による交通費の上昇などが考えられます。

内訳は以下の通りです。

日帰り客 約123億2,362万円(前年比21.5%増)

宿泊客 約134億8,991万円(前年比2.4%増)

○修学旅行宿泊客 5,867人(1,726人減)

修学旅行宿泊客数は、5,867人(1,726人減)で前年比22.7%減となりました。学校数は73校(前年比25.5%減、25校減)となりました。

地域別でみると、九州・沖縄が39校(3校減)前年比7.1%減で、関西13校(14校減)前年比51.9%減、関東15校(1校減)前年比6.3%減、その他の地域6校(7校減)前年比53.8%減とすべての地域が減少となりました。

○外国人宿泊客延べ滞在数 50,720人(3,946人増)

外国人宿泊延べ滞在数は、50,720人(3,946人増)で前年比8.5%増となり、コロナ禍前の水準(令和元年5万7,183人)の88.7%まで回復しました。円安の影響や、海外での誘客セールスの実施に加え、昨年10月の長崎—ソウル路線が運航を再開したこと等により、韓国をはじめ東アジア地域からの増加が要因と考えられます。

○月別宿泊客数 2年比較（令和5年～令和6年）

	令和5年			令和6年					
	延べ宿泊客数	宿泊客実数	宿泊延べ滞在数（延べ宿泊客＋宿泊客実数）	延べ宿泊客数	前年比	宿泊客実数	前年比	宿泊延べ滞在数（延べ宿泊客＋宿泊客実数）	前年比
1月	26,657人	24,831人	51,488人	27,746人	104.1%	26,057人	104.9%	53,803人	104.5%
2月	29,355人	27,141人	56,496人	28,307人	96.4%	26,972人	99.4%	55,279人	97.8%
3月	41,135人	37,420人	78,555人	38,414人	93.4%	36,456人	97.4%	74,870人	95.3%
4月	30,309人	28,687人	58,996人	29,793人	98.3%	28,123人	98.0%	57,916人	98.2%
5月	40,104人	37,229人	77,333人	36,898人	92.0%	34,229人	91.9%	71,127人	92.0%
6月	30,095人	28,058人	58,153人	23,937人	79.5%	22,749人	81.1%	46,686人	80.3%
7月	26,916人	25,096人	52,012人	25,692人	95.5%	23,780人	94.8%	49,472人	95.1%
8月	38,664人	34,946人	73,610人	42,045人	108.7%	36,698人	105.0%	78,743人	107.0%
9月	29,094人	26,689人	55,783人	28,724人	98.7%	26,741人	100.2%	55,465人	99.4%
10月	37,098人	34,375人	71,473人	36,495人	98.4%	34,146人	99.3%	70,641人	98.8%
11月	40,884人	38,437人	79,321人	41,000人	100.3%	38,874人	101.1%	79,874人	100.7%
12月	31,357人	29,315人	60,672人	33,208人	105.9%	31,281人	106.7%	64,489人	106.3%
計	401,668人	372,224人	773,892人	392,259人	97.7%	366,106人	98.4%	758,365人	98.0%

○直近6年間の動向（令和元年～令和6年：1月～12月）

<観光客数>

雲仙市観光客数（令和元年～令和6年）						
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
観光客延べ数（A）	2,752,536	1,832,123人	1,596,321人	1,971,385人	2,315,148人	2,240,103人
日帰り客数（B）	1,815,320人	1,221,064人	1,126,414人	1,368,916人	1,541,256人	1,481,738人
宿泊客延べ滞在数（C）	937,216人	611,059人	469,907人	602,469人	773,892人	758,365人
延べ宿泊客数	499,701人	328,634人	246,814人	321,657人	401,668人	392,259人
宿泊客実数	437,515人	282,425人	223,093人	280,812人	372,224人	366,106人
A対前年比（%）	96.9%	66.5%	87.1%	123.5%	145.0%	96.8%
B対前年比（%）	94.1%	67.2%	92.2%	121.5%	136.8%	96.1%
C対前年比（%）	102.8%	65.1%	76.9%	128.2%	164.7%	98.0%

<修学旅行客>

	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	延宿泊数	学校数	延宿泊数	学校数	延宿泊数	学校数	延宿泊数	学校数	延宿泊数	学校数	延宿泊数	学校数
雲仙地区	11,438人	103校	5,707人	72校	6,659人	66校	6,950人	81校	6,555人	71校	5,390人	60校
小浜地区	1,741人	41校	553人	11校	638人	15校	1,842人	46校	1,038人	27校	477人	13校
合計	13,179人	144校	6,260人	83校	7,297人	81校	8,792人	127校	7,593人	98校	5,867人	73校
対前年比（%）	87.2%	90.6%	47.5%	57.6%	116.6%	97.6%	120.5%	156.8%	86.4%	77.2%	77.3%	74.5%

<外国人宿泊客>

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
地域	宿泊客延べ滞在数（人）					
国・地域						
アジア	49,755人	5,260人	201人	2,532人	19,659人	43,153人
中国	7,586人	1,205人	50人	269人	1,843人	4,711人
台湾	4,876人	766人	19人	183人	2,819人	8,239人
香港	10,126人	1,624人	0人	710人	6,663人	7,904人
韓国	20,988人	967人	10人	959人	6,226人	18,681人
シンガポール	1,377人	105人	38人	198人	1,343人	2,463人
タイ	1,717人	18人	0人	99人	557人	527人
ベトナム	28人	4人	24人	56人	18人	21人
フィリピン	46人	0人	26人	7人	8人	30人
マレーシア	522人	80人	0人	20人	55人	231人
インドネシア	135人	0人	10人	6人	8人	43人
その他	2,354人	491人	24人	25人	119人	303人
ヨーロッパ	3,639人	254人	89人	158人	2,387人	4,276人
イギリス	637人	142人	26人	25人	326人	434人
フランス	1,051人	21人	5人	45人	336人	1,224人
ドイツ	930人	18人	4人	59人	373人	594人
その他	1,021人	73人	54人	29人	1,352人	2,024人
北アメリカ	1,465人	235人	90人	165人	1,180人	1,864人
アメリカ	1,065人	216人	90人	115人	894人	1,564人
カナダ	398人	19人	0人	50人	280人	300人
その他	2人	0人	0人	0人	6人	0人
南アメリカ	201人	0人	0人	0人	17人	27人
オセアニア	504人	31人	18人	63人	532人	910人
オーストラリア	485人	21人	18人	53人	491人	852人
その他	19人	10人	0人	10人	41人	58人
その他の国・地域	431人	97人	16人	4人	311人	269人
国籍不明など	1,188人	176人	16人	62人	22,688人	221人
合 計	57,183人	6,053人	430人	2,984人	46,774人	50,720人

市長コメント

令和6年の雲仙市観光統計をみますと、宿泊客数、日帰り客数ともに前年比で微減という状況になっております。しかしながら、2年連続観光客延べ数が220万人を超え、観光消費額においては、コロナ禍以前の水準よりも増加しており、着実な観光回復に向けた明るい兆しが見えてきているところでございます。

観光客延べ数につきましては、前年比3.2%の減少となっており、この要因としましては、宿泊施設の改修に伴う休業や廃業等、また前年に実施された全国旅行支援の効果による反動等によるものと考えております。

一方で、観光消費額は前年比10.7%の大幅な増加となりました。これは、宿泊施設の高付加価値化等による宿泊費の上昇に加え、観光コンテンツの充実による娯楽費の上昇、物価高騰による交通費等の上昇につながったと考えております。

外国人宿泊客延べ滞在数につきましては、コロナ禍前の88.7%まで回復しており、国・地域別でみると、韓国が18,681人、台湾が8,239人、香港が7,904人、中国が4,711人と東アジアの国・地域が上位を占めております。

雲仙観光局を中心とした海外での誘客セールスの実施に加え、令和6年10月に長崎—ソウル路線も運航を再開したこと等が、東アジア地域からの観光客数の増加の大きな要因であると考えます。

しかしながら、観光客延べ数等においては、依然としてコロナ禍前の水準までの回復には至っておらず、今後も魅力ある観光地づくり推進のため関係機関と連携し、戦略的かつ効果的な観光施策に取り組んでまいります。

令和7年9月26日

雲仙市長 金澤秀三郎